『ジェンダー史叢書』刊行にあたって 003
はじめに ❖ 髙橋 裕子／石川 照子 005

第1部 「家族」という規範とジェンダー …… 017

第1章 性モラルと家族像——イタリア近代の場合 ❖ 菊川 麻里 018
第2章 情愛的な父親はどこにいる？——近代社会における情愛の重視と家族国家観の形成 ❖ 海妻 径子 040
第3章 〈母の日〉が政治に現れるとき、消えるとき
——昭和二三年の「祝祭日の改正」の議論から ❖ 小玉 亮子 052
第4章 シティズンシップの最前線
——人種、シティズンシップ、そして同性婚 ❖ グレッグ・ロビンソン／浅井 理恵子訳 077

■コラム■
烈婦の父、貞女の兄——家父長制と家族愛のあいだ ❖ 野村 鮎子 096
アメリカの消費文明と家族 ❖ 有賀 夏紀 098

第2部 教育空間とジェンダー …… 101
第1章 江戸における庶民のリテラシーとジェンダー――御殿奉公と庶民の教育熱 ❖ 市川 寛明 102
第2章 一九世紀後半のイギリスのパブリック・スクールにおける「男らしさ」 ❖ 井上 美雪 122
第3章 津田梅子と「婦人参政権」――回顧録・伝記に省かれた事項とジェンダー規範／秩序 ❖ 髙橋 裕子 140
第4章 一九三〇年代植民地朝鮮の教育とジェンダー規範の変容――「良妻賢母」から「皇国女性」へ ❖ 金 富子 166
第5章 インドネシアにおけるイスラーム女子教育とジェンダー ❖ 服部 美奈 188
■コラム■
イギリスの家庭雑誌と「女性らしさ」の表象 ❖ 菅 靖子 206
家族国家観とジェンダー ❖ 牟田 和恵 208
第3部 コミュニティとジェンダー …… 211
第1章 ジェーン・アダムズはいかにしてセツルメント事業を発見・選択したのか？――女性の公的役割論の具体化過程とこれを支える思想構造に焦点をあてて ❖ 米澤 正雄 212

第2章　中国YWCAの家族・女性規範 ❖ 石川 照子　240
第3章　「麻薬戦争」と女性・家族——合衆国における排除型社会の深化 ❖ 大辻 千恵子　261
第4章　育児をめぐるジェンダー秩序
——フランス、スウェーデン、日本の比較社会学的変動論 ❖ 舩橋 惠子　288

■コラム■

アメリカ合衆国南部社会におけるリンチ事件とジェンダー ❖ 佐々木 孝弘　303
ドキュメンタリー映画にみる、占領下パレスチナのさまざまな家族の形 ❖ 岡 真理　305